



「一人に一台一生活り添うスマートロボット」

国のムーンショット型研究開発事業として、2050年までに、AIとロボットの共進化により、自ら学習・行動、人と共生するロボットを実現する、という目標があります。少子高齢化の進行と、医療・介護の現場での人手不足などから、一人一人に寄り添い、一台でさまざまな作業をこなすロボットの実現です。現在のロボットは複数のタスクをこなすことはできず、人との接触に適した柔らかさ・繊細さとパワーの両立も果たされていません。人工知能(AI)をロボットの制御に用いるには、実世界の物事とデータの関連性をいかに持たせるかが課題です。倫理的・法的・社会的課題や国際的視点から、ロボットと人の共生のあるべき姿を探る必要もあります。

2050年に、ビジネス、家事、介護、看護、治療を自律的に実行可能なスマートロボット(アイレック)を実現することを目指して、開発されています。具体的には、ビジネスにおける接客、家事タスクとして調理・洗濯・清掃など、介護タスクとして移乗支援・清拭・食事介助など、看護タスクとして検査・案内・点滴交換など、診断・治療補助タスクとして自動検査・手術支援などです。身体と制御システムでは、人と接触可能な柔らかい身体構造を備え、自己修復機能を有するスマートロボット。知能システムについては、AIの理解を深め、ロボットが人の感覚運動を学習して高難度タスクを実現し、人との情動コミュニケーションがとれること。福祉・医療への展開技術の構築として、治療・看護・介護支援の自動化と、この分野のタスクに順応するロボットハンドの開発です。

ロボットの革新・AIの革新・社会実装・社会ニーズの分析の各専門家が結集してこのプロジェクト(ロボットの機械的柔軟性・AIによる環境適応性・実空間での柔軟な身体知・相互誘導型コミュニケーション知能)を成功させようとしています。2050年には必ずここまで行こう!という、未来のために、難易度の高い目標を掲げ、研究室の中で必死に取り組んでおられる頭脳集団(研究者)に心から敬意を表し、エールを送り、成功を祈ります。



## 春の園庭さんぽ

4月は三寒四温で寒暖差の激しい日が多くありました。お天気で風が気持ちの良い日には、園庭に出て満開の桜やチューリップ、小鳥のさえずりに山里の春を満喫しました。

4/3 あじさい園創立 29 周年記念日を迎え、厨房職員お手



## 4/3 創立記念日お祝い

### ◎外出について

予定が決まりましたら、相談員までご連絡下さい。  
(お風呂や準備などの都合上、原則5日前まで)  
外出時のお願い事項や届出について案内いたします。

### ◎家族面会について

午前 10:00~11:00 の30分毎  
午後 14:00~16:30 の30分毎 ※電話予約にて  
・マスク着用にて消毒と検温の上、玄関ホール内での  
ご面会となります。15分程度でご協力お願いします。

### ◎衣替えについて

前日までに来園日をご連絡下さいましたら、(ご面会



### 5月行事予定

5日(月)端午の節句

12日(月)喫茶 訪問美容

25日(日)誕生日会

26日(月)喫茶